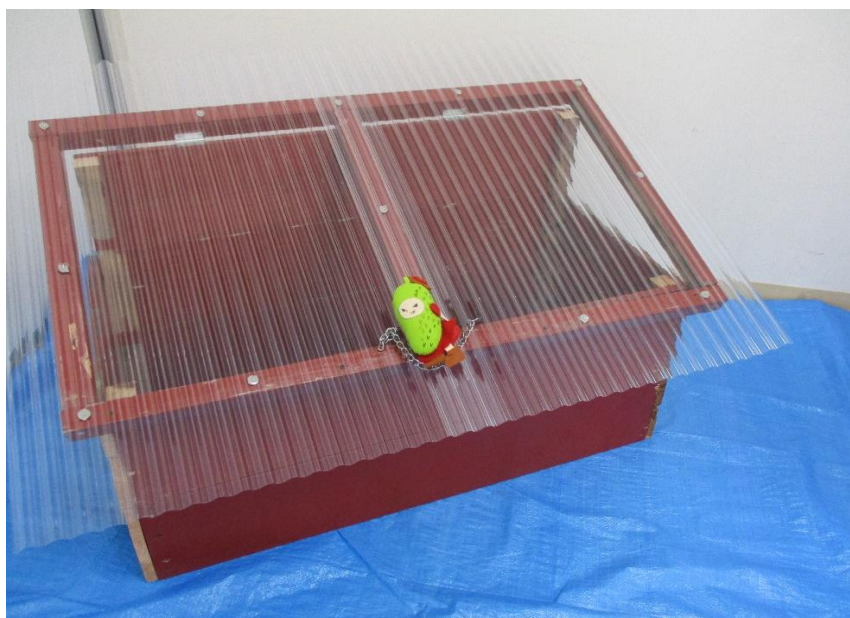


北栄町

キエー口のしおり



北栄町環境エネルギー課

疑問やご相談がありましたら、お気軽にご連絡ください。

メール kankyou@e-hokuei.net

電話 0858-37-3116

もくじ	1
キエー口とは	2
設置から投入までの準備	3
投入時のポイント	5
困ったときのQ&A	6
冬を乗り切るために	8
キエー口への投入例	9



キエー口とは

土の中の微生物により生ごみを分解します。生ごみは土の中で分解され、土の量はほとんど増えることはなく、堆肥としても使用できます。

日当たりと風通しの良い場所を好み、夏季は3～4日、冬季は2週間ほどで分解されます。

メリット

- ・ 毎日、生ごみを処理することでおいや害虫の発生を防止することができます。
- ・ 生ごみを処理することで可燃ごみを出す量を減らせます。

デメリット

- ・ 冬場は分解がすすみにくいです。
- ・ 設置できる場所が必要です。



町長さんと一緒に記念
撮影してるわたしは
「にがみちゃん」と言
います。
よろしくね！



●設置から投入までの準備

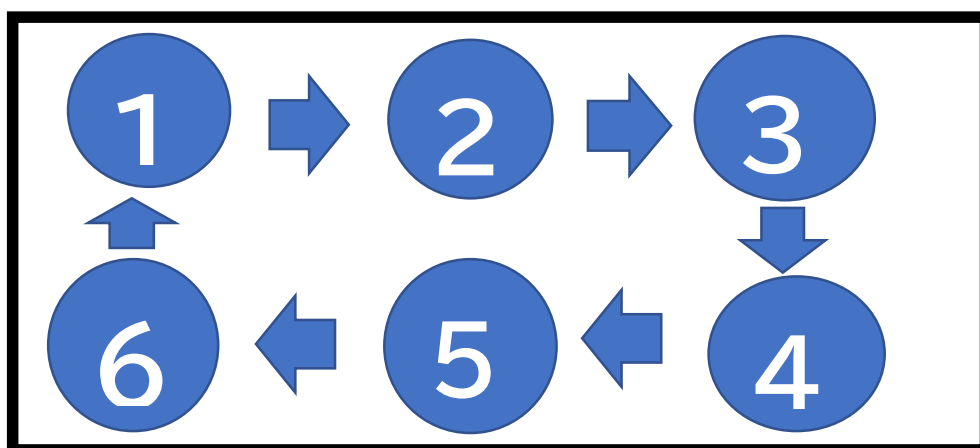
まずは設置しましょう

- ① 屋外の日当たりがよく、風通しの良いところに設置します。
- ② 容器内に土を入れます。
※黒土が望ましいですが、畑の土、プランターで利用した土、花と野菜の土でも分解できます。
×腐葉土、粘土質の土、砂まじりの土は適さない

※土の温度が高く、表面の土が乾いていると、分解が早まり虫やにおいの発生を抑えられます。

生ごみを入れましょう

- 生ごみを刻んでおくと埋めやすく分解も早くなります。
 - しっかり土をかぶせることと穴が浅いと臭いや虫の発生原因となります。
- ① 生ごみを投入するときに15センチ程度の穴を掘ります。
 - ② 掘った穴に生ごみを入れます。大きいものは細かくすると分解が早まります。
 - ③ 土と生ごみをよく混ぜながら埋めます。最後に乾いた土を表面に被せます。



投入例

キエー口の中に6つ穴を掘る位置を決め、1から順に埋めていく

- ① 生ごみを投入するときに15センチ程度の穴を掘ります。



- ② 掘った穴に生ごみを入れます。大きいものは細かくすると分解が早まります。



- ③ 土と生ごみをよく混ぜながら埋めます。最後に乾いた土を表面に被せます。



空気と土、生ごみを混ぜ込むように混ぜてください。



最後にあらかじめよけておいた乾いた土をしっかりとかけます。生ごみが完全に隠れる程度に土を被せます。

※生ごみに土がかぶさってないと臭いや虫が発生する原因になります。

投入時のポイント

- ・ 空気を入れるように混ぜる。好気性バクテリアが活発になるので、分解が早まります。分解がすすむと土がほんのり温かくなります。
- ・ 廃食用油や米ぬかを投入する。
土の中の微生物が活発になり、生ごみの分解が早くなります。
- ・ 分解途中の生ごみが少量残っていても、次の生ごみを埋めて大丈夫です。
土の中の温度が上がリ、分解がすすみます。
- ・ 硬いものや野菜などの繊維質の部分は分解が遅いです。
- ・ 一度に投入する量は気を付けてください。
- ・ 人が食べられないものは、基本的に分解しません。
- ・ 生ごみを入れすぎると分解が遅れます。細かく刻んだり、土とよく混ぜることで分解が促進されます。
- ・ 分解中にほぐしたり、土の中に空気を入れ、ふかふかの土を保つことが大切です。

◎ 分解しやすい物

肉、魚、油、料理の残り物、野菜(細かく刻んだり、加熱したものは◎)

△ 分解に時間がかかるもの

トウモロコシの芯、ブロッコリーの茎、玉ねぎの皮
グレープフルーツやみかんの皮、魚類の小さな骨など

× 分解できない物

玉ねぎの茶色い皮、卵の殻、タケノコの皮、トウモロコシの皮
アボカドや梅干し等の大きな種、落花生の殻
食べ物以外の物



困った時の Q&A

Q1 土中に幼虫や虫が発生してしまった場合の対処方法は？

A1 熱湯や殺虫剤をかけることで駆除できますが、生ごみが無くなり、土が乾燥すればいなくなります。

(対策)

生ごみのにおいが漏れてしまうと虫が発生してしまいます。

- ・風通しの良いところに設置する。
- ・深いところに埋めて、乾燥した土を被せる。
- ・生ごみを小さく砕いて、土と混ぜる。
- ・生ごみを入れすぎている場合があります。量を調整してください。

Q2 なかなか分解がすすみません。

A2 使い始めや数か月以上間隔があいてしまうと、微生物が活発でなく、分解に時間がかかってしまいます。冬季も同様です。

(対策)

- ・定期的に生ごみを入れてください。
- ・油や米ぬかを生ごみと一緒に埋めると、分解が早くなります。
- ・水分がないと分解できませんので、土中が乾いていたなら、泥団子ができる程度の水分や油分を加えてください。

Q3 生ごみを処理しきれません。

A3 一度に入れる生ごみの量を調節してみてください。

(対策)

- ・作りすぎない、食べ残しを減らすなど、食べ物を無駄にしない意識を持つことも大切です。
- ・生ごみを減らす工夫をして、入らない分は燃えるごみで出してください。

Q4 カビが生えました。

A4 カビが白くてふわふわしたものの場合、成功の証ですので気にせずに混ぜてください。青いカビの場合、土を追加する、入れた生ごみが土の表面に出てこないように注意するなどして対応してください。

Q5 土をかぶせているのに、においがします。

A5 魚のアラ、鶏の皮などたんぱく質を含むものを入れすぎるとにおいがでることがあります。お湯をかけるなどして軽く火をとおしてから投入すると、においの発生が防げる場合があります。

こんな生ごみ処理器もあります！

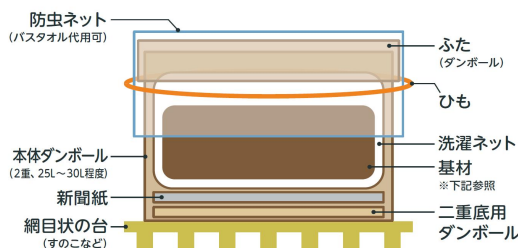


プランターを利用したミニキエーロ



ダンボールコンポスト

ダンボール箱を利用した生ごみ処理器です。
ダンボールに入れた基材（ピートモスなど）の中の微生物の力によって生ごみを分解し、堆肥を作ります。
ダンボールは通気性が良いため、基材の水分調節や、微生物に必要な空気（酸素）を通すことに適しています。



メリット

- ベランダ、屋内など狭い場所でも取り組めます
- 身近にあるものを利用して作成できます
- 堆肥が作れます

※基材例・ピートモス3：くん炭2
どちらもホームセンター等で購入できます。



鳥取県ホームページQR

冬を乗り越えるために

気温の低い冬はバクテリアの活動が鈍くなり、分解が遅くなります。
寒い冬場を乗り越えてキエー口を使いこなすコツを紹介します。

① いつもより土をよく混ぜて空気を入れる

冬は土も冷えてかたくなりがち。微生物は空気を好むので、分解中の塊をほぐすだけでなく、シャベルをさすようにして全体に空気を入れ、ふかふかの土を保つことが大切です。生ごみの分解が終わった頃を見計らい、一度底の方から掘り返してみましょう。空気の入った土は作業も楽で、分解も早くなります。

② 使い終わった廃食油や米ぬかが分解を促進します。

使い終わった廃食油や米ぬかは微生物の働きを活発にし、分解を早めます。

③ 生の野菜は小さく または 熱をとおす

冬の寒い時期に特に分解に時間がかかるのが生の野菜くずです。
小さく刻むか、調理時に使った下ゆでの残り湯にしばらくつけたり、使用後のフライパンに水を足し、余熱を利用して軽く火を通すのも効果的です。

④ キエー口に埋めるものと可燃ごみに出すものを分ける

「ここまで工夫しても消えるのが遅い」「処理が追いつかない・・・」そんな時は生ごみすべてをキエー口に入れるのではなく、分解しにくいものは可燃ごみに出すのも一つの方法です。分解しやすいものを中心に入れるなどキエー口に無理をさせないことも上手に使うコツです。

継続することが大事

生ごみの分解中は土の温度が少し高くなり、温かく感じます。埋めるのをやめてしまうと土中の温度は下がり分解しにくくなってしまいます。
少しずつでも継続的に生ごみを入れて土中の温度を下げないようにすることが順調に分解を続けるポイントです。



キエーロ 投入例 令和5年5月に実際に投入した例です。

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
ブロッコリー芯 白菜	にんじん えのき茸 ピーマン	白菜 キャベツ 玉ねぎ	鶏皮 にんじん キャベツ芯 しめじ アスパラ コーヒーかす	コーヒーかす キャベツ にんじん じゃがいも 玉ねぎ	玉ねぎ しめじ にんじん なす キャベツ コーヒーかす	玉ねぎ かぼちゃ 白菜 鶏皮 豚肉脂身 コーヒーかす
8	9	10	11	12	13	14
なす 麦茶 にんじん たまねぎ コーヒーかす	春雨 コーン そばろ肉 麦茶 コーヒーかす	米粉 油かす ズッキーニ じゃがいも ピーマン にんじん 麦茶 コーヒーかす	トマト ねぎ 玉ねぎ しめじ コーヒーかす	白菜 にんじん 玉ねぎ ブロッコリー 麦茶 コーヒーかす	おやすみ	レタス 玉ねぎ ねぎ にんじん 豚肉脂身 ※米ぬか投入
15	16	17	18	19	20	21
麦茶 にんじん チンゲン菜 大根	魚の皮 ブロッコリー じゃがいも コーヒーかす 麦茶	いちご ピーマン サツマイモ ブロッコリー 油かす コーヒーかす 麦茶	スイカの皮	ごはんつぶ 枝豆皮 コーヒーかす	かぶ 玉ねぎ にんじん ※スイカの皮がなくなっ た	あじのはらわた にんじん 大根 かぼちゃ きゅうり コーヒーかす
29	30	31				
セロリ かぼちゃ なす チンゲン菜 しめじ お茶の葉 コーヒーかす	水菜 ピーマン にんじん 玉ねぎ なす 魚の皮 お茶の葉 コーヒーかす	にんじん 米粉 白菜 小松菜 ※スイカの皮がなくなっ た				

【使ってみた感想】

- ・生ごみを入れても土をしっかりとかばせておけば、生ごみのおいしはしません。
- ・肉類を入れたところを1～2日後に混ぜると少しにおいがします。
- ・ピーラーで剥いた野菜の皮は2日ほどできれいになります、芯の部分は硬いので時間がかかります。
- ・枝豆の皮、とうがらしは分解しませんでした。
- ・生ごみを投入してもあまり中の土の量が増えたように感じませんでした。